

平成27年度の事業計画について

朝陽同窓会 幹事長 吉村 悟(7回)

本年度は母校創立100周年記念事業の最重要案件である募金活動が、1億円を目指してよいよ開始されます。

朝陽同窓会は100周年記念事業の他にも、下記の様な新規事業に取り組む予定です。

- 母校キャリア教育拡大への支援
- 同窓会組織の強化
- 朝陽同窓会名簿の発行
- 同期会の初回開催の支援

現在母校1年生を対象としてキャリアガイダンスを実施しています。これは各界の卒業生2名を招いて自己の社会における活動を紹介し、1年生のこれからの進路設計に役立てようというものです。今年はこれをさらに拡大して8名の卒業生からなるキャリア教育を実施する予定です。また4月から新たに「進路指導室だより」という4頁の月刊紙を発行しましたが、これにも毎月1名の寄稿を依頼されています。朝陽同窓会としても現役生の役に立てるならということで、適任者を推薦していきます。

同窓会組織の中心は何といても代表幹事です。現在各回2名の代表幹事が合計160名ほど選任されています。しかし代表幹事会への出席は毎回50名程度と低調です。出席率の低い代表幹事はその回にお願いして、交代してもらうなどの対策を取り出席率を向上させたいと思います。またいろんな方面の方々の意見をお聞きするという意味で、運動部や文化部のOB・OG会の代表との懇談会なども計画いたします。

朝陽同窓会名簿は4年に1度発行しており、今年度がその発行時期に当たります。発行の可否に関しては代表幹事会で熱のこもった討論をいたしました。結局「名簿あつての朝陽同窓会だ」「大学生の就職活動には欠かせない」「親子孫で一緒に名前を載せたい」などの声が強く、今回も11月頃名簿を発行することと致しました。一冊4千円ですので、ぜひお買い求め下さい。

各回の同期会の発足時期は、大体卒業後

30周年のころです。これは「朝陽」に卒業後30周年記念記事を集めるため、それがきっかけとなり同期会が始まるということです。今年発行の64号では新たに20周年が加わりますので更に若い層の同期会結成が期待されます。朝陽同窓会では初回の同期会開催には多少の資金援助を行い、或は案内状送付事務を朝陽同窓会で代行するなどの支援を考えています。

その他毎年恒例的に行っている事業は、今年も実施します。

- 総会の開催
- 代表幹事会の開催
- 支部朝陽会の開催
- 戸山新宿交流戦の実施
- 朝陽クラブの開催
- 朝陽祭への展示
- 朝陽65号の発行
- 母校やPTAとの懇談会の実施
- 東京校歌祭への参加
- 館山寮における臨海教室の支援と一般宿泊の実施

実施する事業は同じでも、内容は質や量の向上を求めてゆきます。例えば昨年第18回朝陽クラブではついに参加人数が43名と過去最高となりました。しかしこれで満足せず今年70名の参加を目標にするなど、より高い成果を得られるよう努力いたします。

より高い目標が達成できるかどうかは、ひとえに朝陽同窓会会員の皆様のご参加の如何に掛かっております。どうぞ今後とも朝陽同窓化活動をご支援くださるとともにご自身でも各種事業にご参加下さるよう、お願い申し上げます。

水上寮解体のお知らせ

昭和4年に建設された水上寮は、夏の林間学校の基地として永く親しまれてきましたが、平成17年の林間学校を最後に無人となって以降は厳しい自然環境で荒廃が進み、不審火や自然災害の恐れを指摘する地元の声もあって、理事会の決定に基づき平成26年10月に解体されました。謹んでお知らせ致します。

財団法人朝陽会

平成27年度予算(案)
平成27年4月1日より平成28年3月31日まで

△印は前年実績に対して予算が少なくなったことを示す

勘定科目	予算	前年実績	差異	差異理由(予算⇒実績)
<収益の部>				
入会金	3,300,000	3,075,000	225,000	前年実績の10%増
年会費	1,700,000	1,546,000	154,000	前年実績の10%増
長期会費	5,266,226	4,788,242	477,984	前年実績の10%増
寄付金	0	482,500	△ 482,500	100周年記念募金開始により無し
名簿売上	1,600,000	10,500	1,589,500	27年度は400部売上を目標に
名簿広告代収入	500,000	0	500,000	前回実績の半分で見込んだ
朝陽広告料収入	848,000	608,000	240,000	販売促進努力の結果
100周年記念募金	50,000,000	0	50,000,000	初年度は目標額の半分を達成
預金受取利息	73,000	72,338	662	
朝陽クラブ収入	270,000	236,000	34,000	26名/回→30名/回
経常収益合計	63,557,226	10,818,580	52,738,646	
<費用の部>				
事務局手当	5,428,000	4,498,000	930,000	100周年記念募金担当者新規任命
通勤交通費	426,000	384,305	41,695	
会議費	395,000	315,869	79,131	
通信費	339,000	336,151	2,849	
光熱費	240,000	300,808	△ 60,808	
備品費	374,000	192,564	181,436	新型プリンター導入
消耗品費	780,000	740,052	39,948	
記念品・慶弔費	66,000	34,542	31,458	
銀行郵貯手数料	342,000	175,803	166,197	募金開始による倍増
減価償却費	17,857	214,032	△ 196,175	償却終了
出張旅費	192,000	155,690	36,310	
寄付金	100,000	100,000	0	
名簿発行費	3,733,000	151,596	3,581,404	27年度版名簿1,000部印刷
朝陽発行費	3,035,000	2,727,702	307,298	印刷頁数増加 66P→80P
総会費	752,000	658,299	93,701	
支部クラブ等助成金	370,000	200,000	170,000	初回同期会助成金制度発足
校歌祭費用	120,000	100,000	20,000	
朝陽クラブ運営費	388,800	303,360	85,440	
朝陽祭参加費	50,000	25,398	24,602	
戸山戦開催費	50,000	37,500	12,500	
100周年記念事業	1,880,000	17,899	1,862,101	100周年記念事業実質スタート
予備費	600,000	0	600,000	
経常費用合計	19,678,657	11,669,570	8,009,087	
当期経常増減額	43,878,569	△ 850,990	44,729,559	

* 当期経常増減額

- + 100周年記念事業募金の開始により、経常額は4,388万円の黒字となる予想
- + ただし集まった募金は使途が決定するまで留保する。

* 名簿収支

- + 印刷部数は1,000部だが、今年は400部の売り上げを見込んだ。
- + 600部は次年度以降に売上げる予定で、今年度は差引156万円の赤字となる。

* 100周年記念事業関連費用

- + 事務局費用として人件費やプリンター導入費用など165万円が必要。
- + 事業費用としてポスター代やパンフレット、決起集会費用に188万円が必要。
- + 支出に当たっては必要性などを再度十分吟味する。